



天文台だより

銀河の森天文台
2011 春号
Vol.51

国立極地研究所と相互協力協定を締結！



握手する上出洋介館長と藤井理行国立極地研究所長

2011年2月5日(土)、「りくべつ宇宙地球科学館と大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との相互協力に関する協定」調印式を行い、協定を締結しました。

国立極地研究所(極地研)は日本の南極観測の中心機関です。極地研と陸別町の関わりは長く、20年程前から「日本一寒い街」陸別町で南極観測用氷柱掘削ドリルの実験などを行っています。また、第47次日本南極地域観測隊(2005-2007年)には陸別町出身の斎藤健さんも越冬隊で参加していて、2006年の南極昭和基地と陸別との交信イベントに登場しました。

相互協力の第一弾として、極地研より貸与された映像配信機材での南極昭和基地ライブ映像の放映を1階展示室で開始



しました(左写真:46インチ液晶TVは、陸別町しばれ技術開発研究所より寄贈)。

今後、極地研との様々なイベントを企画する予定です。お楽しみに。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

ユニバース(宇宙、森羅万象)の語源は、uni+vert(=turned)で、“一つにされたもの”という意味です。ところが最近、この世はマルチバース multiverse構造になっているという考え方が有力であると聞きます。宇宙の出来方には、氷が水になるような相転移という“状態の変化”が重要な役割を果たしますが、その相転移が一様に起きず、宇宙空間に相転移が終わっていない場所が残っていると、その宇宙から新たな宇宙が生まれ、宇宙が無限に増えてしまうというのです。いずれにしろ、すべてを含んだ時間/空間であるユニバースが、複数(しかも無限に多く)存在すると言うのはどういことなのでしょう。私たちの体を作っているすべて原子は、宇宙の始まりと共に生まれたと聞いても特に驚きませんが、そうした宇宙が無限にあるというのは一体どういうことなのでしょう。早速、宇宙論専攻の友人に尋ねてみましたが、よく理解できない言葉で説明されたあと、「確かに、マルチバースはあり得ます」と締めくくられました。ビッグバンで始まったこの宇宙の他に、まだまだ沢山の宇宙が存在するというのです。君のすぐ横に別の宇宙があるのかも知れませんよ。



(上出洋介館長)

銀河の森天文台「感想ノート」より

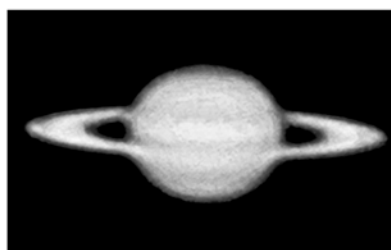
- ☆ 星というものをじっくり観察したのは初めて！天気も気分も最高！！今度、来た時も色んな星が見たいな！
- ☆ 都会では見えない星もみれてたのしかった！！今度は、低緯度オーロラ見てみたいなあー。
- ☆ ほんとに感動しました！！こんなにはっきりくっきり星が見れるなんて・・・！土星とか本物と思えないぐらいすごかった。私たちはすごい所に生きているんだなあと思いました。うまい言葉が見つからないけど、ありがとう。来てよかった。
- ☆ 今日のはじめて昼間の星を見ました！！自分にとってはかなりの感動でした。説明して下さった方もくわしく教えて下さって大満足でした！
- ☆ 帯広からきました。土星がほんとうにかわいかったです。色々説明してもらえて楽しかったです。

暦表

(陸別町)

春は土星が見頃です！

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
4月 1日	5:03	17:56	27.3	3:38	15:48
4月 15日	4:39	18:13	11.5	14:37	2:42
5月 1日	4:13	18:32	27.5	2:49	16:41
5月 15日	3:55	18:48	11.8	16:07	2:09
6月 1日	3:41	19:05	28.8	2:53	18:36
6月 15日	3:37	19:14	13.2	18:33	2:51



土星は今年もおとめ座の中にあり、7月中旬頃まで見頃です。望遠鏡で見ると、土星の輪がはっきりわかります。是非、ご来館下さい。

天文行事&暦

4月

- 3 ●新月
- 5 土星が衝
(光度0.4等、視直径19".3)
清明(24節気:太陽黄経15°)
- 18 ○満月
- 20 穀雨(24節気:太陽黄経30°)
- 27-5/8 土星観望会

5月

- 4/27-5/8 土星観望会
- 2, 3 天文台特別開館
- 3 ●新月
- 6 立夏(24節気:太陽黄経45°)
- 8 水星が西方最大離角
(光度:+0.5等、離角:25° 33')
- 16-27 天文台メンテナンス休館
- 17 ○満月
- 21 小満(24節気:太陽黄経60°)

6月

- 2 部分日食(最大食分0.07)
陸別(始4:29、最大4:50、終5:12)
- 新月
- 6 芒種(24節気:太陽黄経75°)
- 16 ○満月
- 22 夏至(24節気:太陽黄経90°)

春のイベント情報!!

☆土星観望会

この時期見頃の土星を中心に春の天体を観望します。土星は今年もおとめ座の中にあります。是非、大型望遠鏡で土星の輪をご覧下さい。

開催日時: 4月27日(水)~5月8日(日)

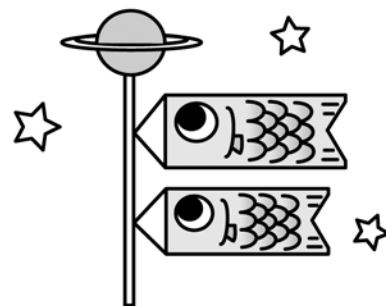
説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜・祝日のみ)

天文台日記 - 「低緯度オーロラ観測記」 -

先日、太陽で大きな爆発(フレア)が起こり、北海道でも低緯度オーロラが見られるかもしれない!という事態が起こりました。天文台でも低緯度オーロラが現れる北の空にカメラを向け、写真観測を行いました。しかし、陸別は雪のため観測が難しく、天候が良い場所を求めて移動しての観測も試みましたが天候は思うように変わらず、次第にオーロラの発生条件も弱まり…残念ながら今回は低緯度オーロラをとらえることはできませんでした。観測に成功するためには、天候や発生時間など様々な条件が整わなければならない、難しいのです。皆さんに低緯度オーロラのニュースをお届けできる日が待ち遠しいです。(榊)



北の空を写した写真



「発見! 銀河の森」 - ライトピラー -

2月上旬、天文台からふと街の方を見てみると、何本もの光の筋が空高く伸びているのに気がつきました。これはライトピラーと呼ばれる現象で、寒い夜に空気中の水蒸気が凍り、それがライトの灯りで結晶が反射し空高く伸びて見えるという珍しい現象です。ただ寒いだけではなく、湿度も高くなければならぬため、なかなか見られない現象です。以前車で走っている際に見かけた時は、まだ対向車が見えないのにヘッドライトで光の柱が空に伸び、遠くから近づいてくるのがわかる程でした。陸別の冬には寒さから起こるさまざまな美しい現象がありますね。(寛)



プラネ情報

上映日: 開館日の土曜、日曜、祝日
※ 4月29日~5月8日は毎日上映します
上映時間: 午後3時、5時、8時の3回
※ 1回は約30分間の上映になります
定員: 各回25名(入館者先着順)
※ 入館料のみで観覧できます



天文台からのお知らせ

- ☆ 4月より開館時間が、14:00~22:30となります。(昼間14:00~18:00、夜間18:00~22:30)
- ☆ 5月2、3日は、月・火曜日ですが特別開館します。
- ☆ 5月16日(月)~27日(金)は、天文台メンテナンス休館となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp